

ラッピングバスがお目見え!

市町村が走らせるバスでは、鳥取県内初の取り組みとなるラッピングバスが、町内を走る巡回バスにお目見えすることとなりました。1月15日、八橋警察署、JA共済など関係機関と御来屋保育所の園児たちが出席式を行いました。バスの車体には交通安全を願

い



▲車体にイラストがあります。

▲出発するラッピングバス

「後ろ席もシートベルト着用」の文字とシートベルトのイラストが、青色を基調に描かれています。

園児たちは出発式のあと、早速ラッピングバスに乗り込み、役場と御来屋保育所の間を乗り初めました。

*ラッピングバスとは、絵などを描いたフィルムをバスの車体に貼り付けたものです。

「とっとり共生の森」

森林保全・管理協定を調印

平成21年12月24日「とっとり共生の森」森林保全・管理協定の調印式が、ファミリー(株) (本社大阪市) 稲田二千武社長、平井伸治鳥取県知事、森田増範大山町長の三者間で行われました。



シャトーおだかで行われた森林保全・管理協定の調印式。(写真右から平井伸治鳥取県知事、ファミリー(株)稲田二千武社長、森田増範大山町長)

この森林保全・管理については、ファミリー(株)が健全で豊かな社会の実現を目的に、CSR (企業の社会的責任) の一環として取り組まれるものです。従業員やその家族と地域住民の方々が森林の枝打ち、除間伐などの活動を行います。

この協定により今後10年間、大山町赤松地内12・9haの森林で、ファミリー(株)と地域住民との共同によって森林保全活動が行われます。第1回目の活動は今秋に行われる予定です。

雪の中の元旦マラソン



コンディションの悪い中でスタート

毎年恒例の元旦マラソンが、今年も名和神社を発着に行われました。三年連続で雪の降るなかでの大会となり、積雪も多かったですが参加者は例年より多く、約50人のランナーが健脚を披露しました。

ランナーたちは名和神社で初詣をすませたあと、神主さんから無事に走ることができるようにとお祓いを受けると、気持ちを引き締めていました。

気温も低く断続的に雪が降り、道路には30センチ近くの積雪がありました。ランナーたちは降り積もった雪にたじろぐことなく元気にスタートを切りました。とても走りにくい条件でしたが、参加者はそれぞれのペースで走り、全員が無事走りました。